

(別紙4(2))

事業所名: テンダーヒル御所わかば館グループホームきつとうど

作成日: 平成29年4月20日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	ご利用者に意向を伺っても、援助者に目標や方法を求められる中で、ご利用者にとっての望まれる生活を援助者によって求めてきた。	ご利用者にもっと現状の課題や望まれる生活について、じっくりと伺い、待つ姿勢を追及していく。	グループホームの2ユニットそれぞれでご利用者の方々が自治的に現状の生活の課題やしたいこと、食べたいものなどを検討し(利用者会議)考えていく。	6ヶ月
2	13	正しい認知症ケアの実現のために、知識を得る努力を行ってきたが、スタッフそれぞれが望む認知症ケアを十分の実践することが出来ていなかった。	すべてのケアに携わるスタッフの声に耳を傾け、あるべき姿だけではなく、スタッフのどのようになりたいのかを集約していく	グループホーム全スタッフと管理者が話を行い、現状にどのような課題を感じているのか、またどのようなケアを行いたいのかを確認し、目標を作っていく。	6ヶ月
3	21	私たち援助者とご利用者との関係を重視し、孤立されない取り組みを行ってきたが、利用者同士の共同生活としての関係性がまだまだ希薄のように感じる。	利用者同士の助け合いや支えあいの可能な生活環境や関わりのあり方を求めていく。	もともと、認知症共同生活介護の中で、出来ないことをすべて介護者が代替的に行うことなく、出来るまで待つことや主体的に利用者同士が行える環境を作っていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。